（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ナナイロアートプロジェクト事業
事業主体 （連絡先）	ナナイロ会議実行委員会 長野県松本市大手 1-3-29 丸今ビル 1F
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,080,930 円（うち支援金：3,262,000 円）

事 業 内 容

「障がい」や「生きづらさ」をテーマにしたアート作品を街中に展示するイベントです。日本では障がい者と関わったことがない人は半分の 51.9%と言われています。他の国と比べてダントツで高いという調査結果が出ています（表３）。ダイバーシティ&インクルージョンが叫ばれる中で、多くの人たちが「障がい」に触れる機会がそもそもありません。そこに本質的な課題があると考えています。**まずは知ること、お互いの理解やコミュニケーション（対話）ができる場を創出し、表現につなげる活動の拡大を目指しています**

【アートを通した対話の様子】

【目標・ねらい】

① 障がいのある人とない人の接点をつくる拡大
② 多様な人が参加できるイベントの開催増加
③ 福祉を支援する人の増加
④ 当事者活躍する場づくり増加

事 業 効 果

・多様な施設や障がいのある人、グレーゾーンの人の作品展示ができた。
・多くの人に障がいをテーマにした作品に触れてもらった。
・フリーペーパーや SNS、イベントを通して企業や地域の人と協業ができ、ダイバーシティ&インクルージョンのメッセージを発信できた。**【アート展観覧者　- 総数約 175,100 人】**会場　信毎メディアガーデン**約 18,600 人**、マツモトアートセンター1F ウィンドウ/2F **約 16,800 人**、マツモトアートセンター1F アトリエ&ギャラリー **約 3,000 人**、ギャラリーノイエ**約 400 人**、松本市中央図書館**約 5,000 人**、松本市中央公民館**約 800 人**、八十二銀行ウィンドウギャラリー**約 67,200 人**、イオンモール松本:**約 60,000 人**、e スポーツ:**約 800 人**、3x3 車いすバスケット:**約 2,500 人。【ナナイロ会議参加人数】午前の部 31 名　午後の部 35 名　総数　66 名【メディア掲載実績】**信濃毎日新聞・長野日報・市民タイムス・MG プレス等掲載**【フリーペーパー作成/発行】**ナナイロ会議のレポートや対話アート展のギャラリーに限らず、多様性について思う街の人の声や、福祉現場の声などを載せた A4 サイズ 20 ページにわたるフリーペーパーを作成、1 万部発行。

【動画リンク】https://www.youtube.com/watch?v=AzxpBC-I99o

※自己評価【A】

【理由】
・期間や会場を増やした事による観覧者数の増加 36%増
・支援者、ボランティア参加者の増加３倍
・企業と地域の人との協働ができた
・障がいのある人、グレーゾーンの人の作品や思いを知ってもらえた。

今後の取り組み

障がいについてより注目してもらい、ボランティアや福祉業界への就業など、支援者が増えるように広報活動を行う。
福祉団体や施設で働いている人をよりポジティブなイメージにして、光が当たるように情報発信する。
障がいのある人にとって表現という選択肢がより増える環境づくりに取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある